



たはらの 縦横無尽に 舞い上がる 凧の

伝統と個性あふれる、「初凧」「けんか凧」
三河地方は日本でも有数の伝統凧の宝庫。
ここ田原でも、江戸時代初期から続く「初凧」と、
江戸時代後期、庶民の間で盛んに行われたという「けんか凧」が
現在もそれぞれの個性を豊かに保持し、大空に舞い場がっています。
田原凧の特徴は、横長で、縦にたった2本、つりあいを
調整するための糸目が付けられていること。
この一見不安定な構造が、田原凧の縦横無尽な動きを可能にしています。

■田原祭り・田原凧まつりスケジュール

	開催日・開催場所	内容
田原凧まつり (初凧祈願祭)	5月第4土曜日 トヨタ自動車株式会社 厚生センター	子供の立身出世を願い祝いの凧を揚げたのが始まりとされ、「初凧」と呼ばれる鮮やかな凧が大空を舞います。 「初凧」は田原市の無形民俗文化財。
田原凧まつり (けんか凧合戦)	5月第4日曜日 田原市文化会館 はなのき広場周辺	赤組と青組に分かれ、互いに離れた場所から凧を揚げてお互いに糸を切りあう「けんか凧合戦」。上下左右にと巧みに凧を操る凧師の腕前が見所です。 「けんか凧合戦」は、田原市の無形民俗文化財。
田原祭り	9月、敬老の日に 最も近い土・日曜日 田原市内	豪華な山車と、軽快に舞うからくり人形、そして最終日の勇壮な手筒花火・花火大会が見所。 3台の山車とからくり人形は、田原市の有形民俗文化財。

Access

■お車をご利用の場合

大阪 名古屋 豊橋 田原 伊良湖 静岡 東京

名古屋 → 音羽浦郡IC (R23・R259) ▶ 30分 → 豊橋 → 三河田原 (R1・R42) ▶ 50分 → 田原

伊良湖 → 田原 (R259) ▶ 30分

田原 → 豊橋 (R42) ▶ 30分

豊橋 → 三河田原 (R1・R42) ▶ 50分

■公共交通機関をご利用の場合

大阪 → JR新幹線 → 名古屋 (51分) → 金山 (5分) → 田原 (バス ▶ 35分)

伊良湖 → 田原 (バス ▶ 55分)

田原 → 豊橋 (バス ▶ 35分)

豊橋 → 三河田原 (バス ▶ 35分) → 田原 (徒歩 ▶ 5分)

田原 → 静岡 (JR新幹線 ひかり ▶ 85分)

田原 → 東京 (JR新幹線 ▶ 85分)

利用のご案内

- ◎開館時間—午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)
- ◎休館日—毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)・年末年始
- ◎入場料—無料

〒441-3421 愛知県田原市田原町稗田17番地
TEL.0531-22-7337



愛知県・田原市役所 商工観光課
〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30番地1
TEL.0531-23-3522 FAX.0531-22-3817

渥美半島観光ビューロー <http://www.taharakankou.gr.jp>
田原市 <http://www.city.tahara.aichi.jp>



山車

江戸時代からの伝統を受け継ぐ「田原祭り」
田原祭りのルーツをたどれば江戸時代。
熊野神社の祭礼として始まったといわれています。
明治時代以降、名古屋型山車が田原に登場し、
いつしか精巧なからくり人形が人々を魅了するようになりました。
現在では、八幡社・神明社・巴江神社の祭りを
田原祭りと呼ぶようになりました。

城下町文化の
粋を伝える

